

# こども園の現状と改善策

熊本県立宇土高等学校  
e-1(11)班

## 要旨

保育園と幼稚園の良さを併せ持つ「こども園」について現状を調べ、より良い教育機関にするための改善策を考えた。現状、こども園の数は保育園の数よりも少なく、理由として「移行手続きが面倒」「保育教諭免許が弊害ではないか」などの仮説が立てられた。保育園、幼稚園、こども園にアンケートを取ったところこども園に移行するにあたって、保護者へのメリットは多くなる一方、職員にとっての負担が大きくなるという事がわかった。このことから、こども園をより良い教育機関にするためには保育教諭の大きな負担となっている事務業を減らしたり、国や自治体が支援を厚くこども園側にかかる費用を削減することが必要であると考えた。

## 1. 目的

教育環境の現状や問題点などについて調べてみたところ、「こども園」という言葉を目にした。保育園と幼稚園の両方の良さを兼ね備えた「こども園」ができたことによってこれからの幼少教育にどのような変革を与えるかを知りたいと思ったから。

## 2. 方法

- ・インターネットや本を利用して、現状や情報を調べる
- ・対象施設にアンケートを送り、実際の現状を調べる
- ・今後のこども園をより良い機関にするための改善策を考える

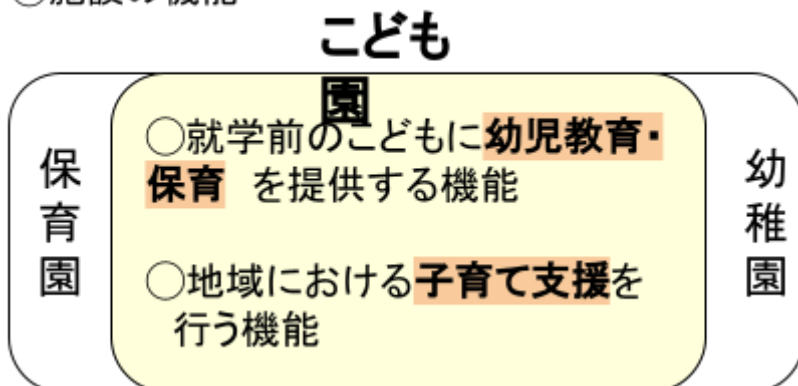
## 3. 結果

### 仮説

- ・こども園は内閣府と、保育園・幼稚園と管轄が違う  
⇒移行の手続きが面倒になるのでは？
- ・こども園では「保育教諭」の免許所得が推奨されている  
⇒移行の弊害になるのでは？
- ・保育園と比べて、給料が安い働く上での負担は大きい  
⇒保育園に移行するメリットはないのでは？

### 調べて分かったこと

#### ○施設の機能



#### ○資格について

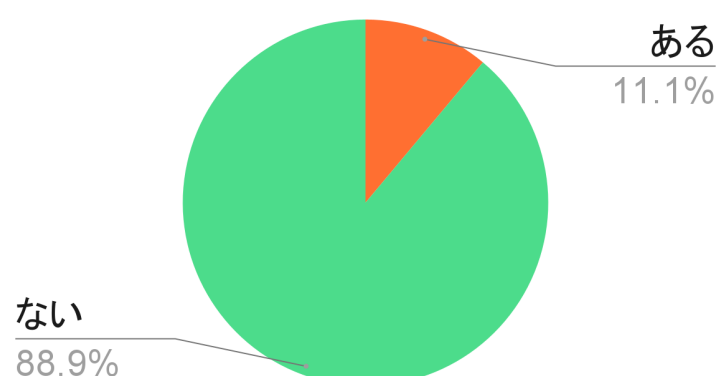
- 保育教諭の免許取得が推奨されている
- ※保育教諭...幼稚園教諭と保育士の免許の双方を持っている人

### アンケートの結果

こども園に移行してよかったと思いますか？



こども園に移行しようと思ったことはありますか？



### こども園のメリット

- ・幼稚園児をより長い時間預かれる
- ・子どもたちの受け入れ幅“大”(保護者の労働状況関係なし)
- ・機能の充実(子育て支援等)
- ・延長保育は利用料が返金

### こども園のデメリット

- ・同じ教育・保育が難しい(滞在時間が異なる)
- ・保護者の労働環境が複雑
- ・行政機関からの事務量の増加
- ・職員の負担が大きい

### こども園に移行する上で大変だったこと

- ・園の名前の変更(看板や表示など)
- ・保護者の方の認識に齟齬があったこと(元保育園)
- ・免許について(保育教諭の免許取得、免許の更新など)

### 幼稚園のメリット

- ・自由度がある
- ・子供の生活に合わせた教育時間の確保

### 保育園のメリット

- ・幼稚園よりも長く園児を預かれる

## 4. 考察

- 今後のこども園の改善策の考案
- 職員の負担⇒事務業をする人を雇う
  - ・作業に機械を使い、人の負担を軽減
  - ・保育教諭の数を増やす ⇒事務業を減らす

- 多額の費用⇒国や自治体がこども園に支援金を更に出す
- ・看板の変更などを不必要にする ⇒費用削減

## 5. 感想

今回の研究で、こども園とは保護者にとっては非常にメリットの多い施設であるが、職員にとっては事務業が増えるなど負担が大きい施設であることが分かった。このことからこども園の職員の負担を減らすための支援や、職員を増やしたりすることが必要だと考える。また、今回のアンケートからは保育園・幼稚園のそれぞれの長所も分かった。保護者の選択肢も増えるので、必ずしもすべての園がこども園に移行する必要はないのかもしれない。今後は、これらのことも踏まえて研究したいと思う。

## 6. 参考文献

- <https://www8.cao.go.jp/shoushi/kodomoen/gaiyou.html>
- <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/35/97774.html>
- 認定こども園とは？移行までの流れを徹底解説！
- 「認定こども園」とは？保育士さんに必要な資格やメリット・デメリットを解説
- 認定こども園を解説。幼稚園・保育園との違いや仕事内容・給料を解説 | 保育のお仕事お役立ち情報【ジョブトル保育】